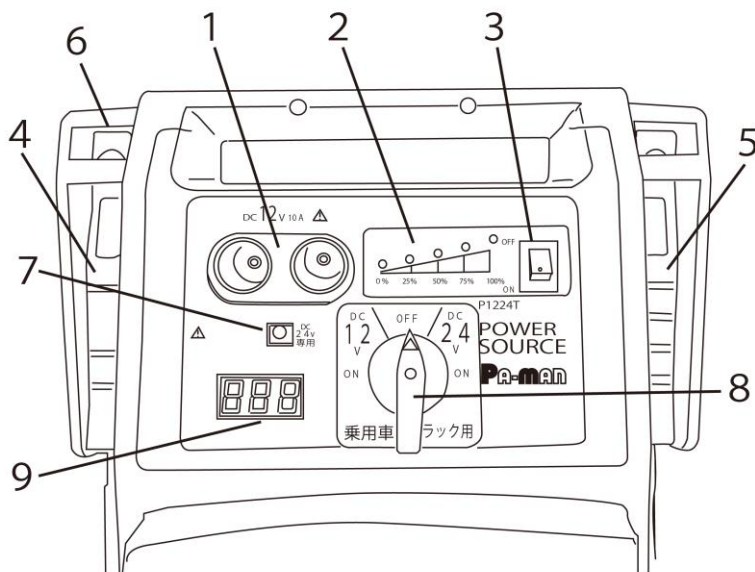


取扱説明書

パワー・ソース DC12/24V 電圧テスター付 **非防水**
 品番：#33249000 型式：P1224T

1, 各部名称



1	アクセサリソケット
2	バッテリー容量ランプ
3	バッテリー容量確認スイッチ
4	黒色クリップ
5	赤色クリップ
6	クリップホルダー
7	充電入力端子
8	切替スイッチ
9	電圧テスターのモニター

2, 注意事項

△危険 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う事になるもの。)

- ①エンジン始動時にクリップは、決して取り外さないで下さい。
- ②使用前には、必ず、車側の電圧、本機の切替スイッチの電圧 (DC12/24V) を確認して下さい。
- ③乗用車 (DC12V車) に使用する場合は、必ず切替スイッチをDC12V側にして下さい。重大事故に繋がります。

△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う可能性のあるもの。)

- ①トラック (DC24V車) に使用する場合は、2ケのバッテリーを直列に接続している位置のプラス、マイナス端子、及び片側のバッテリー (DC12V) のみには接続しないで下さい (次ページ「DC24V接続」の図参照)。
- ②本機は、自動車用鉛バッテリー専用のエンジン始動機です。他のバッテリーには使用しないで下さい。
- ③本機に金属類を差し込んだり、接続しないで下さい。ショート、発火の原因になります。
- ④本機を乱暴に扱ったり、落とさないで下さい。
- ⑤本体、ケーブル、クリップ、充電器等に、破損箇所や異常がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- ⑥火の気、可燃性物質の無い、風通しの良い場所で使用して下さい。
- ⑦使用前に、安全手袋、安全メガネ等を着用して下さい。又、指輪、ネックレス等の導電性のある装飾品は取り外して下さい。
- ⑧バッテリー液が身体、目に付着した場合は、直ちに洗い流して下さい。目に入った場合は医師の診察を受けて下さい。
- ⑨本機を傾斜面、軟弱地では使用しないで下さい。使用中に本機が安定せず、転倒して重大事故に繋がる恐れがあります。
- ⑩導電性のある場所にクリップを置かないで下さい。感電、火災の原因になります。
- ⑪本機を車等で持ち運ぶ際は、クリップがクリップホルダーに確実に収納されている事を確認して下さい。又、周囲に導電性の物が無い事を必ず確認し、手の届く範囲に置いて持ち運びをして下さい。クリップが導電性の物に接触し、スパーク、火災の原因になる恐れがあります。
- ⑫本商品を使用及び取り付ける機器 (乗用車、トラック、各種電源等) の取扱説明書も合わせてご確認の上、使用して下さい。

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①本機を水に浸けたり、雨ざらしにしないで下さい。本機故障の原因になります。必ず屋内で使用、保管して下さい。
- ②凍結したバッテリーには使用しないで下さい。
- ③本体、充電器の改造、分解はしないで下さい。本来の能力を発揮出来なくなる恐れがあります。
- ④連続36時間以上は充電しないで下さい。本機、バッテリー破損の原因になります。
- ⑤本機の純正バッテリー、及び純正部品以外は取り付けしないで下さい。
- ⑥本機は寒冷地仕様と著しく消耗したバッテリーには使用出来ません。確認後、使用して下さい。

3, 充電方法

△充電に関する注意事項

- ①充電時間はバッテリーの状態により異なりますが、5～13時間で満充電になります。**連続36時間以上の充電は絶対にしない**で下さい。
- ②13時間以上充電しても満充電にならない場合は、バッテリーの消耗が考えられます。有償にてバッテリー交換を致します。
- ③必ず**未使用でも、3ヶ月毎に充電**して下さい。
- ④**AC100V充電アダプターを本機の充電以外に使用しない**で下さい。

- ①本機の切替スイッチを『**DC24V**』側にして下さい。DC12V側では充電出来ません。
- ②AC100V充電アダプターをコンセントに、他端を充電入力端子に差し込んで下さい。充電アダプターのランプが赤色に点灯します。
- ③バッテリー容量確認スイッチをONにすると、バッテリー容量ランプが点灯します。バッテリー容量ランプは、現在の充電率を表します。**100%のバッテリー容量ランプ、充電アダプターの緑色ランプ点灯**で満充電です。充電完了後は1時間以内に充電を止めて、AC100V充電アダプターを本機とコンセントから抜いて下さい。尚、AC100V充電アダプターのランプは、バッテリーの状態によって、緑色と赤色が交互に点灯することがありますが、この状態でも満充電です。

4, 使用方法

△**パワーソース単独ではエンジンの始動は出来ません**。必ず車載バッテリーを併用して下さい。**車載バッテリーの電圧はDC3.6V以上必要**です。(逆接保護防止器付の為、DC3.6V以下のバッテリーではスイッチが作動しません。)

△本機には車載バッテリーを測定するテスターが付いています。切替スイッチをOFFにして、クリップを車載バッテリーに接続して下さい(「4, 使用方法③」参照)。電圧テスターのモニターに車載バッテリーの電圧が表示されます。電圧が表示されない場合は、車載バッテリーの電圧がDC3.6V以下、又はバッテリーが故障しています。DC3.6V以下の電圧を測定する場合は、切替スイッチを測定するバッテリーの電圧に応じてDC12V側、又はDC24V側に切り替えて、バッテリー容量確認スイッチを押して下さい。バッテリーが故障している場合、電圧は表示されません。

- ①車のイグニッションをOFFにして、目を保護する安全眼鏡を掛けて下さい。
- ②本機の切替スイッチをOFFして下さい。
- ③車載のバッテリーの電圧がDC12VかDC24Vかを確認して下さい。続いて右図を参考に、車のバッテリー配線を外さずに、赤色クリップをバッテリーの陽極(プラス)端子に、黒色クリップをバッテリーの陰極(マイナス)端子、又はエンジンブロックに接続して下さい。**この時、クリップ(コード)がベルトやファンに接触しない様に注意**して取り付けして下さい。

※本機のクリップを車載のバッテリー端子に逆に接続するとブザーがなります。正しく接続して下さい。

- ④**乗用車(DC12V車)に使用する場合はDC12V側に、トラック(DC24V車)に使用する場合はDC24V側に切替スイッチを切り替えて下さい**(右図参照)。
- ⑤イグニッションキーを回して、エンジンを始動させて下さい。
- ⑥エンジンが**6秒以内に始動しない場合は、イグニッションキーをOFF**にして、クリップを車載バッテリーに接続したまま、3分後に再始動を試みて下さい。それでもエンジンが始動しない場合は、**本機的能力不足、車側の故障**が考えられます。
- ⑦エンジン始動後、黒色クリップを先ず外し、その後、赤色クリップを外して、**クリップホルダーに収納**して下さい。
- ⑧使用毎に本機を必ず充電して、**100%のLEDランプを点灯**させて下さい。

※バッテリー容量の確認は、**切替スイッチをDC24V側に切り替えて、バッテリー容量確認スイッチをON**にして下さい。

- ⑨DC12V(10A以下)電源の電化製品を使用する場合は、アクセサリソケット(出力)に電化製品の電源プラグを差し込み、使用して下さい。

